

【第42回南紀短歌大会 入選者リスト】

賞		出詠者				
		NO	市区町村	氏名	ふりがな	歌
特別賞	知事賞	13	美浜町	森本 香代子	もりもとかよこ	社名消し野良着となりし夫の服油の染みのうすれゆきたり
	市長賞	69	和歌山市	片桐 三紗子	かたぎりみさこ	語りかけ語りかけられ人形の瞳の奥に宿りてわたし
	教育委員会賞	42	海南市	田中 久恵	たなかひさえ	大き腹抱え過ごし夏の日々あれ程暑い夏はなかった
	文化協会長賞	24	和歌山市	高野 仁美	たかのひとみ	剥く指をすももは赤く染め上げる私を通過点に選んで
川野里子	特選	13	美浜町	森本 香代子	もりもとかよこ	社名消し野良着となりし夫の服油の染みのうすれゆきたり
		24	和歌山市	高野 仁美	たかのひとみ	剥く指をすももは赤く染め上げる私を通過点に選んで
		27	新宮市	小野 小乃々	おのこのこのの	転校の初日のきりさめ見えねども濡れて鳴かないひばりとなりぬ
	入選	2	田辺市	藤井 三智子	ふじいみちこ	春の野の花に吸われてゆく心花芯に亡母はお住みいるらし
		11	白浜町	木下 のりみ	きのしたのりみ	柴犬のぬれている鼻ひんやりと吾に承認のスタンプを押す
		31	御坊市	佐々木 ゆかり	ささきゆかり	ある晴れた日の海面にカムチヤツカヨリ襲来ノ波アリと聞く
		35	日高町	鈴木 幸代	すずきさちよ	薔薇といふ文字を拡大くだいしやうやく書きぬ家建つる如
		40	田辺市	川村 さつき	かわむらさつき	顔知らぬ戦死せし伯父の命日は言葉失う「終戦七日後」
		69	和歌山市	片桐 三紗子	かたぎりみさこ	語りかけ語りかけられ人形の瞳の奥に宿りてわたし
		80	田辺市	岩崎 洋子	いわさきようこ	幼日に逝きし母への思慕深く吾が顔映す鏡を磨く
江戸雪	特選	50	田辺市	濱岡 裕子	はまおかゆうこ	悩まされ続けたくせ毛古希過ぎてウェーブ素敵とほめられており
		69	和歌山市	片桐 三紗子	かたぎりみさこ	語りかけ語りかけられ人形の瞳の奥に宿りてわたし
		81	海南市	今井 良美	いまいよしみ	糲殻をいぶす煙は山の辺の雲に引かれて夕闇せまる
	入選	11	白浜町	木下 のりみ	きのしたのりみ	柴犬のぬれている鼻ひんやりと吾に承認のスタンプを押す
		22	田辺市	龍田 早苗	たつたさなえ	野垂れ死ぬ蛇を頬まれ捨てに行く昭和の爺がちょいと輝く
		38	和歌山市	中尾 加代	なかおかよ	折畳み傘ていねいに畳みつつ次の誘いをそっと断る
		42	海南市	田中 久恵	たなかひさえ	大き腹抱え過ごし夏の日々あれ程暑い夏はなかった
		59	広川町	澄田 広枝	すみたひろえ	ゐなくなる未来はありて一千年眠りしののコスモス畑
		74	田辺市	杉本 雅子	すぎもとまさこ	子を恋ふるこの母にして飛び立ちし東京便を見上ぐるばかり
		94	和歌山市	桜庭 紀子	さくらばのりこ	梅林をならんで見たのにもういない 淡いピンクのソフトクリーム
井谷まさみち	特選	42	海南市	田中 久恵	たなかひさえ	大き腹抱え過ごし夏の日々あれ程暑い夏はなかった
		53	田辺市	廣瀬 佐和子	ひろせさわこ	ツナ缶とドリンク剤の空つぼがどさつと残る生くるとふこと
		86	岩出市	赤井 順子	あかいよりこ	人生も余白欄外ありとしてこの秋からの八十路の生活
	入選	13	美浜町	森本 香代子	もりもとかよこ	社名消し野良着となりし夫の服油の染みのうすれゆきたり
		38	和歌山市	中尾 加代	なかおかよ	折畳み傘ていねいに畳みつつ次の誘いをそっと断る
		40	田辺市	川村 さつき	かわむらさつき	顔知らぬ戦死せし伯父の命日は言葉失う「終戦七日後」
		62	田辺市	柴田 厚美	しばたあつみ	取り寄せのなつめの苗木植えてより実をみるまでは生きねばならぬ
		68	海南市	宮崎 トシミ	みやざきとしみ	置きし場所忘れて鍵の見付からず夏の去りゆく寂しさに似る
		89	和歌山市	中川 啓子	なかがわけいこ	「ひしがた」の形にピタリと菱餅の三色どれも春を呼ぶ色
		93	和歌山市	松田 容典	まつだよしのり	鬱蒼たる森を貫く簡素なる道あり一本だけの尊さ
連盟賞	11	白浜町	木下 のりみ	きのしたのりみ	柴犬のぬれている鼻ひんやりと吾に承認のスタンプを押す	
	73	田辺市	杉若 喜代香	すぎわかきよか	気にやみしことも過ぐればあつけなくえのころ草の穂をわたる風	
	19	和歌山市	榎本 紀子	えのもとのりこ	われの名の出でこぬ母を抱き寄せて解きたかりしよメビウスの帶	